

# 化学物質アドバイザー認定審査 テキスト（2008 年度版）

## 目 次

はじめに

第一章 化学物質アドバイザーの役目	1
1. 化学物質アドバイザーとは	1
2. 化学物質アドバイザーの活躍する場面	1
3. 化学物質アドバイザーに求められるスキル	2
4. 化学物質アドバイザーの心得	2
第二章 化学物質関連法規	5
1. 化学物質とは	5
2. 化学物質環境汚染の発生	5
3. 化学物質対策の考え方	7
4. 化学物質に関連する主な法令	8
5. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進 に関する法律	13
第三章 環境リスクとその評価	21
1. ハザードとリスク	21
2. 人への影響	23
3. 生態影響	26
4. ばく露量評価	28
5. 環境運命	29
6. リスク認知	32
7. 演習 リスク評価	37
第四章 PRTR データの算定・推計方法	41
1. 届出事業者の排出量算定方法	41
2. 届出外排出量の推計方法	43
第五章 PRTR データに基づくリスク評価	50
第六章 環境分析	51
1. 分析の背景	51
2. PRTR 制度における分析	51
3. 分析対象	52

4. 試薬、溶媒、標準物質	53
5. 試料採取、保存	53
6. 前処理と測定	55
7. 排出量、移動量の計算	63
第七章 リスクコミュニケーション	66
1. リスクコミュニケーションとは	66
2. リスクコミュニケーションのあり方	69
3. リスクコミュニケーションプログラム	74
4. リスクコミュニケーション事例	76
第八章 情報源へのアクセス	114
1. 化学物質アドバイザー	114
2. 化学物質関連法規	114
3. 有害性情報	114
4. リスク評価	115
5. ばく露評価ツール	116
6. PRTR 情報	116
7. 環境分析	117
8. リスクコミュニケーション情報	117
9. その他	118

本テキストは、以下の方々に御執筆いただいた原稿を元に、「化学物質アドバイザー」の活動において必要と考えられる、より実践的な内容だけをピックアップし、事務局の責任において加筆・編集したものです。

各執筆者の元原稿には重要な知見が記述されており、以下の Web サイトに格納してありますので、「化学物質アドバイザー認定審査」受験者は、こちらもあわせて学習してください。

<http://www.env.go.jp/chemi/communication/taiwa/bosyuu/text.html>

内山 巖雄	京都大学（有害性・人への影響）
織 朱實	オフィスアイリス（事例研究）
加藤 順子	三菱化学安全科学研究所（有害性・環境影響）
佐々木裕子	東京都環境科学研究所（分析化学）
関沢 純	国立医薬品食品衛生研究所（環境リスク・リスクコミュニケーション）

（五十音順、敬称略）

本テキストは、2008 年度環境省委託業務の一環として、（社）環境情報科学センターが編集・発行したものです。  
引用・転載を禁じます。